

事務事業名	市民活動フェスタ開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4047			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市民活動センター		課長名	保坂 久			
			所属担当	市民活動センター		担当者名	保坂 久			
基本政策	基本計画体系	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		02 地域ネットワークの充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		04 市民の自主的活動の促進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	市民活動センター条例、施行規則					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 NPO、ボランティア団体、市民団体の相互の交流及び一般への周知を目的として開催する。 実行委員会を組織し、参加団体の自主的な運営により行う。 内容は、展示、発表、販売・遊び・防災の5部門に別れ、それぞれ責任者を決めて各部門毎に内容を決定し、全体の統括を実行委員会が行う。 平成25年度は、平成26年3月9日(日)に、子育て支援のファミリーフェスタとの合同開催			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				消耗品費 印刷製本費 その他保険料 使用料 計 0						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	NPO・ボランティア・市民活動団体による市民活動フェスタを開催する。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	事業規模縮小のため09「協働のまちづくり啓蒙啓業」に統合する。			ア参加団体	団体
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民活動センター登録団体、行政組織、市民		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア登録団体	団体
					イ参加市民	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	参加団体の交流、情報の場として、市民活動への理解が深める。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア参加団体	団体
					イフェスタへの参加市民	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民の自主的な活動や社会貢献活動が促進され、市民と行政による協働のまちづくりを進める。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア活動センター登録団体	団体
					イ団体参加者(延べ)	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	50	64	71					
		事業費計(A)	千円	50	64	71	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0				
		延べ業務時間	時間	40	80	40	0				
		人件費計(B)	千円	182	364	182	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	232	428	253	0	0	0	0	0
	活動指標	ア 団体		57.0	57.0	70.0	0.0				
		イ 人									
	対象指標	ア 団体		242.0	183.0	190.0	0.0				
		イ 人		73,684.0	72,963.0	72,000.0	0.0				
	成果指標	ア 団体		57.0	70.0	70.0	0.0				
		イ 人		500.0	600.0	600.0	0.0				
	上位成果指標	ア 団体		242.0	183.0	190.0	0.0				
		イ 人		600.0	600.0	600.0	0.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年度に市民活動センター登録団体相互の交流と市民への啓蒙普及を目的として、第1回市民活動フェスタが開催された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	登録団体の市民ボランティア活動の意識が市民の間に広まってきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	新しい企画を取り入れ、参加を呼びかける必要がある。マンネリ化してきているので参加団体も減少している。榎形総合体育館が会場になるが、3月開催は、まだ館内が寒い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	多くの登録団体が気軽に参加できるよう、前年の反省を参考にしている。展示、販売、発表の3部門に分かれ、それぞれ責任者と係りを決め自主的に進めてもらう。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	前年は子育て支援のファミリーフェスタと合同開催であったが、関係団体の温度差もあり、本年度は同日別開催とした。会場は隣接とし、執行部の連携を図った。有志の企画会議により自主性が発揮され、活発かつ円滑に実

事務事業名	市民活動フェスタ開催事業	所属部	市民部	所属課	市民活動センター
-------	--------------	-----	-----	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 協働のまちづくりを進めるためには、NPO、ボランティア団体、市民団体の連携は重要であり、上位目的との整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 事業は市予算7万円と必要最小限(使用料、保険、事務用品)の支出であり、殆ど参加団体の自主参加で行われている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 今回は第8回目の開催であり、子育て支援のファミリーフェスタとの同時開催により、若い層の参加団体もあり、フェスタ当日は親子連れの参加者が多く活気があった。参加団体の満足度も高く、自主的な運営が出来た。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ファミリーフェスタとの同時開催により、大きな集客にもつながった。出展者、参加者とも満足度が高く、十分な事業成果が認められる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ファミリーフェスタとの同時開催は、子育て支援課との役割分担をしっかりと行い連携することで事業効果を高めることが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民団体の自主的な事業を市が支援しているものであり、自主的な事業を市が休廃止させることは、関係者の反発が予想され、休廃止によるメリットもない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 元来、市民手づくりのお祭りということで、需用費と保険料、会場使用料のみの予算で行っているため、これ以上の削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 市民活動フェスタは、実行委員会方式で行っており、人件費が計上されていない。また、有志による企画会議や自主運営の実行委員会、JC他協力的な関係団体により円滑に実施された。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民活動センター登録団体、行政機関の参加により運営され、市民全体が参加対象となるので、公平、適正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民活動フェスタは、今回子育て支援課のファミリーフェスタと同時開催した大きな協働事業である。有志による企画会議や実行委員会の主体的な運営により円滑に実施できた。チラシも、市民団体がデザインし、全戸配布とした。ゲスト講演やファミリーフェスタとの連携により十分な集客があり、啓発効果も期待できる。今後も、出展者の自主性や積極性を活かした運営により、より良いイベントになる。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 前年の反省を踏まえ、ファミリーフェスタとは別組織での開催としたことで、実行委員会など円滑に進んだ。しかし、ファミリーフェスタと同意開催、会場隣接としたことで多くの参加者を招くことが出来た。反面、駐車場の確保が重要となり、今年度は広さと誘導が課題となっている。 なお、事業の予算規模が非常に小さいので、柔軟な執行が難しいのでH27年度は、協働のまちづくり啓蒙・啓発事業に統合する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 参加者、出展者、実行委員会の満足度も高く、効果の高いイベントとになった。駐車場など改善点に留意し、市民の主体性を大切に持続してよいイベントに育てていきたい。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					